



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和2年6月1日
第2号
校長 矢野 晴一

学校教育目標：「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

令和2年度、やっとスタートです！ よろしくお願いたします。

制限された日常の中、およそ2か月遅れではありますが、やっと学校の教育活動をはじめることができます。

まだ予断を許さない状況が続くとは思いますが、本年度も、学校・家庭・地域の「つながり」を大切にしながら一つ一つ丁寧に活動を進めてまいりたいと考えております。あらためて、どうぞよろしくお願いたします。

合言葉は、『積小為大』『つながり』『ありがとう』

令和2年度、大原中学校で力を入れていくこと

本校の学校教育目標

「目的意識をもって自ら学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

本年度（令和2年度）の重点目標

「あたりまえの日常に感謝しながら、仲間とともに小さな努力を継続する」

そして、そのめざす姿に近づいていくための合言葉が三つあります。それは、・・・

「積小為大」

小さな努力の積み重ね

「つながり」

仲間とともに

「ありがとう」

感謝の気持ちを忘れずに

例年とは異なる状況の中で、不安やもどかしさを感じながらも、私たちは「家族や仲間とともに過ごす何気ない日常の中に大切な宝物がある」ということを学び、当たり前前の何気ない日常の積み重ねこそ大事にすべきことだということ、大人も子どもも身をもって実感したのではないかと思います。

また、日常とは違う生活の中で、日ごろ見過ごしてしまいがちな、「つながり」を感じたり、「支え」を感じたりしたいと思います。支えてくれる友達や先輩、家族、先生、そして地域の方々との「つながり」を大事にするとともに、「ありがとう」の気持ちを忘れてはならないと考え、本年度の重点目標を設定しました。

これからも、「ありがとう」の気持ちを忘れずに、子どもたちとともに、「積小為大（小を積んで大と為す）」と「つながり」を大切にしながら、みんなで力を合わせて、歩みを進めていきたいと思ひます。



あたりまえの日々を守るために・・・！

～ 学校でできること、家庭でできることを全力で ～

5月21日（木）から分散登校という形ではありますが、教室での授業もはじまりました。少しずつではありますが、学校に子どもたちの笑顔がもどってきているのを見て、思わず「やっぱり学校は、子どもたちがいなくちゃ・・・」とつぶやいている自分がいました。

また、以前はあたりまえ過ぎて気にもとめることのなかったチャイムの音が聴こえたとき、「学校がはじまるんだ」という感情がわき出して、心にジーンと染みてきました。

まさか、チャイムの音が感動の対象になるとは思いもよりませんでした。 「感動」というのは、何も華やかで特別なことではなく、何気ないあたりまえの日常の中にあるのだということを再認識することができました。

そしてもう一つ、この喜びや感動を守るために、あたりまえの日常を守るために、私たちも子どもたちも保護者のみなさまも、それぞれできることに全力で取り組まなければならないと決意を新たにしました。

今、校内のいたるところに視覚的に注意喚起できるように、職員手づくりの

「今は離れよう 2m」の掲示や英語で「How to wash your hands」の掲示等がしてあります。

ご家庭にも、毎朝の【検温】や【健康観察カード】の提出をお願いしておりますが、日常をとりもどすことができるようにするためにもご理解ご協力をお願いいたします。



ひさびさの チャイムの音色 しみわたる
あたりまえの日々 心に刻む
晴一

小さいけれど大きな感動 その3 ～ 誰の仕事でもない仕事 ～

分散登校の時、その日に使った教室を拭き上げている、登校していない他の学年の先生方の姿がありました。

また、休業措置の中、訪れる方も少ない中、黙々と花壇の手入れに取り組む先生の姿がありました。

このような姿に私は、大原中学校の職員集団のすばらしさを心から実感しました。

「子どもたちの安全のために！」 「子どもたちの心を癒すために！」

分担された役割ではなく、自ら進んで動きをつくる先生たちの姿をみながら、私は、ある講話を思い出しました。

仕事は三つに分かれます。

一つは「私の仕事」、二つ目は「あなたの仕事」、これらは役割がはっきりしています。それに対して、三つ目には「誰の仕事でもない仕事」という役割が明確でないものが存在します。

この「誰の仕事でもない仕事」を「私の仕事です」と引き受けていく組織は、困難なことがあっても発展していきます。

というものです。

「誰の仕事でもない仕事」をさりげなく行う姿は、優しさにあふれており、何よりも元気になります。学校生活が日常にもどったら、子どもたちのすてきな姿もたくさん見つけていきたいと思えます。

